

2023年2月18日

特定第二種国内希少野生動植物の保全のための情報交換会

# 亀山市におけるカワバタモロコ保全 経緯と現状、そして展望

---

水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座

上野 篤史

# 水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座

● 2002年11月設立 団体としての活動開始（21年目）

● メンバー数：10名

● うお座ミッション

鈴鹿川及び中の川水系（又は流域）

において、地域の水辺や川魚を主たる  
テーマとした次の取組や実現を通して、  
地域の（環境）価値を高めていく

● 活動内容

- ・ バリアフリーの川づくり等の提言
- ・ 流域の川魚文化に関する調査
- ・ ため池等の外来魚の駆除
- ・ 水系での魚の生態系調査
- ・ 希少魚類等の保護



地図イラストは  
亀山市HPより転載



亀山市域の水系



**カワバタモロコ**  
(三重県指定希少野生動植物種)



**ネコギギ (天然記念物)**



**ヤリタナゴ**

## うお座による生息状況調査（2005－2006年実施）

河川や水路での生息は確認できず

**小規模なため池 4 地点** でのみ確認

---

これらの近隣では、大規模な工業団地が相次いで造成（昭和60年より）

⇒多数のため池が消失

⇒これらにカワバタモロコの生息地が含まれていたか



いずれも小規模な谷の奥にある農業用ため池

耕作放棄に伴い池は利用されていない



①管理放棄される  
⇒土砂・ヘドロ堆積  
⇒数十年後には  
山林化



②売却される  
⇒開発により  
池が埋め立てられる

## ①管理放棄されるケース の実例



2010年



2020年



## ②売却されるケース の実例





さらに、谷の奥の小規模なため池であるため

- ・ 1 地点当たりの個体数が少ない
- ・ 低水温により繁殖しづらい

⇒ カワバタモロコにとって 良好な環境ではない

現存する個体群は消滅リスク高い

移殖によるリスク分散 が急務

とはいえ、どこでも移殖すればいいわけではない

課題 1 不安定かつ小規模な池が多い

課題 2 外来魚放流のリスク

## 個体群サイズが十分と推測される3池



ため池  
19地点

移殖地点



水路  
1地点

1地点あたり  
50～150匹  
を移殖



ため池  
6地点

定着地点  
(5年後も捕獲)



水路  
0地点



## ●定着した池の環境

- ・ 比較的存続性が高い**山間の小規模ため池(5池)**
  - コイのみ生息
  - 魚類の生息なく甲殻類・イモリのみ
- ・ 新たにできた調整池—他の魚類なし(1池)

定着しなかった池でも

**移殖直後には繁殖  
⇒爆発的に個体数増加**

という現象がみられることもあった

## ●移殖を続けた所感 1

移殖先としては

**競合種がいない環境**が望ましい

—タモロコ等がいなければ**コイは共存可能か**

—**甲殻類が多すぎる池では定着しづらい**

## ●移殖を続けた所感 2

存続性が高い池  
競合種がいない池

池はあまり多く残ってない

対策①  
同水系内で  
より広域に探す

対策②  
人工的な池を  
積極的に利用

ゴルフ場内池  
調整池 等

※十分な個体数が必要



## ●移殖を続けた所感 3

水路への移殖：移殖個体が移動する  
一定着の確認が難しい

⇒ より多くの個体を移殖しなければ  
繁殖も難しいか？

（ただ、将来的には実現したい）

## ●生息地を購入した企業との協働



2010年



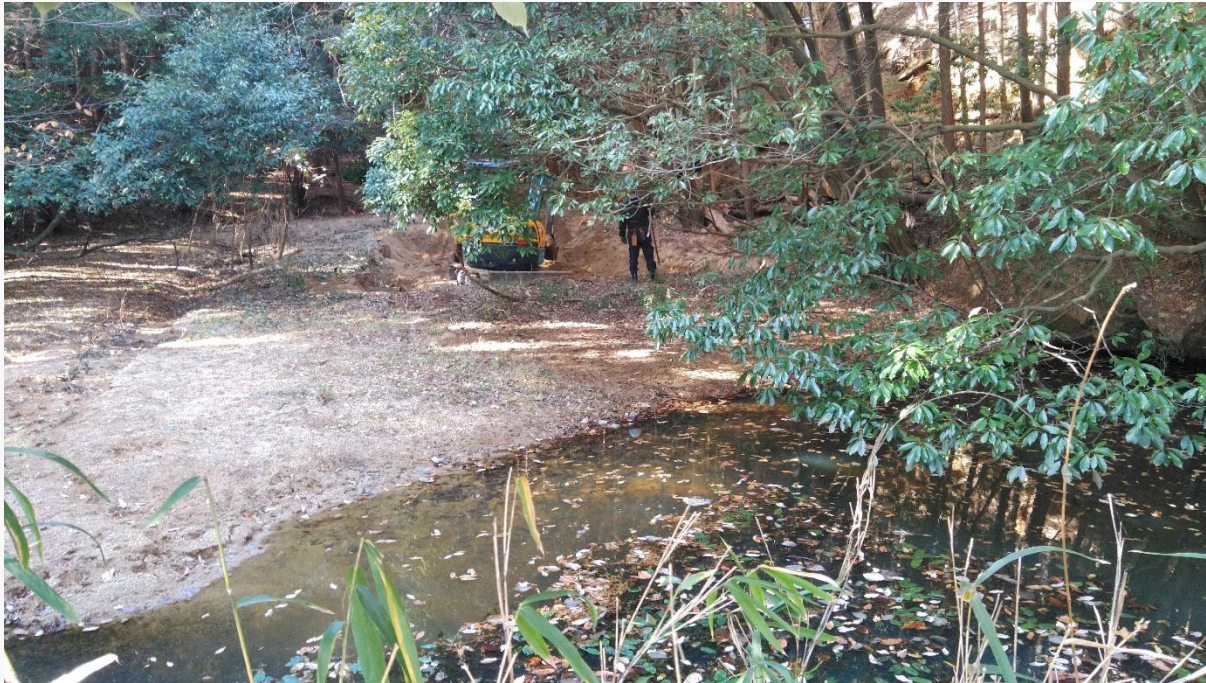
2020年



## ●生息地を購入した企業との協働

### ・保護池の浚渫

⇒縮小した既存池から移殖（2020年に実施）



保護池浚渫の様子



浚渫後の保護池



## ●生息地を購入した企業との協働

### ・生息環境の改善

土留めの設置、日光を入れるための間伐



池周辺の間伐と土留め



保護池に浅瀬を造成（2022年夏）



## ●市管理の自然公園内への再移殖

- ・池の存続性  
としては理想的  
亀山市が所有、管理  
密漁リスク低  
(管理人常駐、監視カメラあり)



亀山里山公園の様子



## ●市管理の自然公園内への再移殖

- ・浚渫して水深がある池を選定
- ・移殖前に池干しを実施



移殖先の池の様子

## ●市管理の自然公園内への再移殖

- ・2021年に移殖、2022年に稚魚を確認

⇒採取した個体を**園内の他の池へ移殖**

⇒目標：園内に点在する池の多くに定着

## ●水系全体への再導入を目指して

企業地の池  
市所有の池

安定した生息地とする

⇒ 十分な移殖個体の確保

⇒ 水系全体にカワバタモロコ  
が生息している状態の復元



## ●地域を巻き込んだ保全事業に

亀山でのカワバタモロコ保全の  
周知啓発も兼ねて

自治体  
地元小学校  
地域住民

を巻き込んだ  
行政・市民参加型保全活動へ発展

